

下水道事業

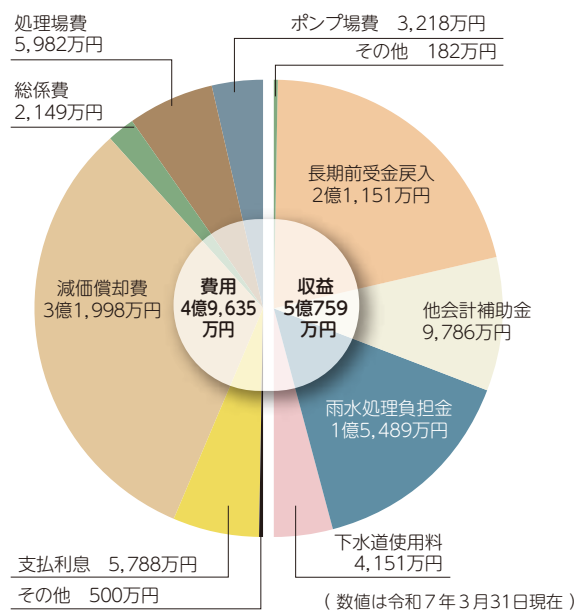
公共下水道事業は、汚水対策による生活環境の改善や公共用水域の水質保全、また雨水対策による浸水被害の防除を目的として、平成11年度に都市計画決定、事業認可を受け、第1期計画区域である富岡地区（80.8ha）において事業を進めてきました。今後は関連施設の計画的、効率的な管理、また施設全体の長寿命化施策によるコスト削減を図るため、令和4年度に策定したストックマネジメント計画に基づき、適切な維持管理を行いながら、下水道施設の適正な運用に取り組んでいきます。

■貸借対照表（税抜）

科 目	金 額	科 目	金 額
固 定 資 産	83億4,052万円	固 定 負 債	29億4,086万円
土 地	6億8,562万円	企 業 債	29億4,086万円
建 物	1億7,268万円	流 動 負 債	3億6,985万円
構 築 物	60億6,347万円	企 業 債	2億8,884万円
機 械 及 び 装 置	5億2,190万円	未 払 金 等	7,487万円
車 両 運 搬 具	10万円	賞 与 引 当 金 等	553万円
工 具 器 具 及 び 備 品	74万円	そ の 他 流 動 負 債	61万円
建 設 仮 勘 定	8億7,307万円	繰 延 収 益	42億2,066万円
投 資 其 の 他 の 資 産	2,294万円	長 期 前 受 金	42億2,066万円
		資 本 金	6億2,207万円
流 動 資 産	1億1,612万円	資 本 金	6億2,207万円
現 金 預 金	1億324万円	剰 余 金	3億320万円
未 収 金 等	1,288万円	資 本 剰 余 金	3億7,138万円
		利 益 剰 余 金	▲6,818万円
資 産 合 計	84億5,664万円	負 債 ・ 資 本 合 計	84億5,664万円

当年度末における処理区域内人口は2,373人、下水道接続人口は1,435人、下水道接続率は60.5%（接続人口ベース）となりました。

■収益と費用（税抜）



問い合わせ 下水道課 ☎22-1796

羽ノ浦農業集落排水事業

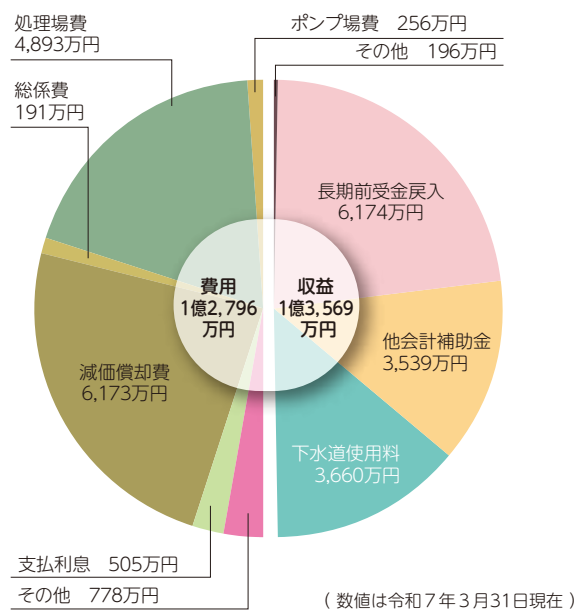
羽ノ浦農業集落排水事業は、農業集落におけるし尿、生活雑排水等の汚水を処理することで、農業用排水の水質保全、農業用排水施設の機能維持を目的として、昭和62年に岩脇地区（168.0ha）、平成15年に羽ノ浦西地区（56.3ha）の供用を開始しました。各施設とも供用開始から約20年以上が経過し、修繕・更新需要の発生により計画的な修繕および更新が必要となっております。今後は国の補助金等の活用を行いながら、施設の適正な運用に取り組んでいきます。

■貸借対照表（税抜）

科 目	金 額	科 目	金 額
固 定 資 産	12億9,059万円	固 定 負 債	2億7,202万円
土 地	7,461万円	企 業 債	2億7,202万円
建 物	1,543万円	流 動 負 債	6,665万円
構 築 物	9億6,870万円	企 業 債	4,239万円
機 械 及 び 装 置	2億2,949万円	未 払 金 等	2,291万円
其 他 有 形 固 定 資 産	236万円	賞 与 引 当 金 等	134万円
		そ の 他 流 動 負 債	1万円
流 動 資 産	2,702万円	繰 延 収 益	8億3,167万円
現 金 預 金	1,829万円	長 期 前 受 金	8億3,167万円
未 収 金 等	873万円	資 本 金	6,493万円
		資 本 金	6,493万円
資 産 合 計	13億1,761万円	剰 余 金	8,234万円
		資 本 剰 余 金	7,461万円
		利 益 剰 余 金	773万円
		負 債 ・ 資 本 合 計	13億1,761万円

経理面におきましては、令和6年4月から地方公営企業法の一部（財務規定）を適用しており、引き続き経営状況を注視しながら、業務の効率化と適正な収支管理による健全な事業運営に努めていきます。

■収益と費用（税抜）



問い合わせ 農地整備課 ☎22-1599

令和6年度 公営事業経営の業務概況

地方公営企業法第40条の2の規定に基づいて、令和6年度阿南市公営事業経営の業務概況について公表します。

令和7年11月1日 阿南市長 岩佐 義弘

水道事業

水道事業は、「安全・安心」でおいしい水を、「安定的」に供給することを最大の使命として、老朽化した水道施設の更新や南海トラフ巨大地震などの災害に備えた耐震化などを計画的に取り組んでいます。また、水道料金の収納等に関する業務を民間の専門事業者へ委託、施設の統合監視において、民間事業者が提供するシステムを利用するなど、民間事業者の有するノウハウ・資産を最大限活用し、可能な限り運営費コストの削減を図り、効率的な水道事業運営を行っています。

さらに、財政面においては将来世代への負担の公平性を考慮した企業債の借入れや国の交付金の活用等による財源確保など、健全経営の確保・持続に努めており、今後も「阿南市新水道ビジョン 2022▶2028」に掲げる【安全】【強靱】【持続】を基本理念とし、適切な水質管理、災害に強い施設整備、経営効率化や安定化に努め、持続可能な水道事業を推進していきます。

問い合わせ 水道課 ☎22-0587

■貸借対照表（税抜）

科 目	金 額	科 目	金 額
固 定 資 産	139億8,513万円	固 定 負 債	50億9,707万円
（有形固定資産）	139億8,462万円	企 業 債	50億9,707万円
土 地	3億7,605万円	流 動 負 債	9億5,370万円
建 物	4億9,824万円	企 業 債	4億5,883万円
構 築 物	110億8,147万円	営 業 未 払 金	7,183万円
機 械 及 び 装 置	5億5,550万円	営 業 外 未 払 金	16万円
車 両 及 び 運 搬 具	333万円	そ の 他 未 払 金	3億8,702万円
工 具 器 具 及 び 備 品	1,625万円	前 受 金	1,012万円
建 設 仮 勘 定	14億5,378万円	賞 与 引 当 金 等	1,158万円
（無形固定資産）	51万円	そ の 他 流 動 負 債	1,416万円
電話施設利用権	10万円	繰 延 収 益	32億7,025万円
ソフトウェア使用権	41万円	長 期 前 受 金	32億7,025万円
流 動 資 産	25億2,937万円	資 本 金	45億9,118万円
現 金 預 金	21億3,178万円	資 本 金	45億9,118万円
営 業 未 収 金	1億9,298万円	剰 余 金	26億230万円
営 業 外 未 収 金	214万円	資 本 剰 余 金	6億4,493万円
そ の 他 未 収 金	124万円	利 益 剰 余 金	19億5,737万円
貸 倒 引 当 金	△178万円	負 債 ・ 資 本 合 計	165億1,450万円
貯 蔵 品	3,327万円		
前 払 金	16,974万円		
資 産 合 計	165億1,450万円		

■業務概況

給 水 戸 数	30,331（戸）
給 水 人 口	64,010（人）
年 間 有 収 水 量	8,259,606（m ³ ）
一日平均有収水量	22,629（m ³ ）
一般用有収水量	7,259,394（m ³ ）
業務用有収水量	977,346（m ³ ）
湯屋用有収水量	16,682（m ³ ）
その他有収水量	6,184（m ³ ）

■収益と費用（税抜）

